

## ホームヘルパー奮闘記 vol.2



「こんにちは。玉光苑の伊藤です。」と私のヘルパーとしての時間が始まります。

玉光苑に入職して23年を経過しましたが、その中でヘルパー部門として9年目を迎えます。配属前はご利用者様の自宅に一人で行き、家事の代行をするのは難しいだろうから自分には絶対できないと思っていたけれど、9年間も続けられているのは、ご利用者様の笑顔と感謝の気持ちをダイレクトに頂けるからだと感じます。

今まで多くのご利用者様宅を訪問してきましたが、ある一人暮らしの女性の言葉が印象的で強く私の心に響いています。「朝、目が覚めると今日も私は生かされている。皆さんに感謝しなければ」と毎日思われるということです。

その方はいつも笑顔で私を迎えて下さり、いろいろなことを教えていただきます。長い人生を歩んでこられた方の話を伺うと、私の心が綺麗に浄化されるように感じます。私も人にそんな気持ちを差し上げられるように日々、努力していくたいと強く思います。

だから今日も「こんにちは。」と元気な私でご支援に向かいます。

**玉光苑 キラキラ瞳のスタッフ紹介 クローズup瞳**

特養従来型 介護主任（施設ケアマネジャー） 佐藤 嘉洋

私が福祉の仕事を選んだ理由は学生の頃から人と話すのが好きなこともあったのですが、人から相談事を受ける機会も多く、その経験を自分の仕事に活かしたいと思ったからです。介護現場の経験を活かし、現在は施設ケアマネジャーとして、ご利用者をはじめ、ご家族とお話しをさせていただくことも多く、毎日楽しく働いています。

私が働くうえで最も大切にしていることは「もし自分なら」という視点からご利用者と向き合うということです。ご自宅でどのようにお暮しになっていたのか、今のご利用者様の気持ちに目を向けて、これから的生活と一緒に向き合い、ご支援させていただくことが大切だと考えています。

これからもご利用者の皆様が生きがいをもってお過ごしいただけるように頑張っていきたいと思いますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

## 玉光苑ギャラリー

施設内には、ご利用者様が作業療法やレクリエーションにて作成した作品を随時、展示しております。個人作品や団体作品による壁飾りなど季節感に合わせた作品など様々です。



Yuriko'sメモ

カボスの全生産量の96%は大分県が占めているほどの特産品です。カボスは、動脈硬化やガンの発生予防、老化予防に効果があるといわれています。今回、豚肉とキノコを合わせることで、腸内環境を整え、夏場の紫外線を浴びたお肌ケアにも効果が期待できます。

◎次回は1月号です。情報満載でお届けします！お楽しみに！

まだまだ残暑が厳しくビールの美味しい季節は続いているが(私にとっては、年中飲み頃ですが...)今年の夏は、甲子園、オリンピック、我らの広島カープが25年ぶりのセ・リーグ優勝と大変に盛り上りました。

広島カープと言えば、私の心の中の師匠「鉄人・衣笠 祥雄」の言葉に「現場が一番面白いというのは、誰よりも自分が一番知っている」というのがあります。私も23年間、当施設で勤務しておりますが、現場の面白さは誰よりも知っているつもりです。「利用者本位のサービス」を理念として掲げて以降、更に現場の面白さを感じています。

私も鉄人と呼ばれた衣笠選手のように引退するその日まで現場に立ち続けていたいと強く思っています。

広島カープ万歳!!

編集後記

# 玉光苑新聞

「玉光苑News」～情報、笑顔をお届け～

vol. 10

2016 9月号 発行元/玉光苑

**9月19日(月) 敬老の日 特養合同イベント**

9月19日(月) 敬老の日に特養従来・ユニット合同イベントを開催しました。当日はたくさんのご家族も面会に来られ、家族団らんのご様子を多く拝見させていただきました。いつもながら、ご利用者の皆様もご家族とご一緒に時はこころから安心された良い表情をされます。私たちスタッフも心温まる瞬間です。

当日、ステージを豪華に盛り上げて下さったのは、「西寒多子ども神楽」の皆様です。昨年末の忘年会に初登場していただいた際、大好評で再演の希望も多く寄せられていましたので、今回お忙しい時期でしたが、お願い致したところ、ご快諾をいただきました。

お神楽で大人気の演目「大蛇退治」ではスサノオノミコトと大蛇の迫力満点の舞いに、みなさん圧倒されており途中、涙を流しながらご覧なられているご利用の方もおられ、日本の伝統文化の素晴らしさを改めて感じることが出来ました。

ご利用者の皆様の笑顔につながるイベントとなりました。

リオ五輪は過去最高のメダルを獲得し感動的な瞬間を提供してくれました。全てが快適とは言い難い環境を寛容に受け入れベストを尽くした選手の皆様の活躍に心から敬意を表したいと思います。チーム力の強さがメダルに繋がった競技は特に感動を呼びました。さて当施設理念である「利用者本位」のケアを組織として実践していくことが28年度計画のひとつです。従来型、ユニット型、在宅部門それぞれが「チーム目標」を設定し、ご利用者様の「暮らし」への支援、「生きがい」への支援を実践し個別性に応じた満足度アップに努めています。

「満足度」を生み出す領域といえば、ハード面・アメニティー・食事やソフト面など人がに行うサービスです。そしてそれを生み出すのが、第一線で活躍する現場職員の「高い質」と「適切な技術」です。さらにはチームワークが必要となります。ご利用者様の満足度は介護サービスの質が大部分を占めています。質の高いサービスを提供する又は職員の質を向上させていくのは法人の責務との認識から全職員対象の研修も計画通り実施しており、行動を起こす「動機づけ」になり、「やってみよう」という創造から実践という形で見てまいりました。

一步ずつではありますが、確実に前に進み、オリンピック選手のようにひたむきな努力を続け「ご利用者様 満足」という最高の瞬間を分かち合いたいと思う次第です。

また、地域社会への貢献が、社会福祉法人の経営努力の結果でもあると認識し、公的責任の部分に於いて収支が見合うよう業務遂行に努めます。

これから多くの皆様のご意見を聴き、地域のために誇れる施設づくりに邁進してまいります。今後ともご指導のほどお願い申し上げます。

社会福祉法人 霊山会 理事長  
特別養護老人ホーム 玉光苑 施設長  
秦 勝子



## 第1回 玉光苑夏祭りを盛大に開催しました。 8月19日(金)

毎年恒例の「供養盆踊大会」も同日行ない、日頃は見ることのない浴衣姿のスタッフにご利用者様も目を奪われいらっしゃる様でした。

ステージイベントでは「クラシックアンサンブル、津軽三味線&シンセサイザー、琉球國祭り太鼓」の皆様のパフォーマンスが披露され圧巻でした。施設内で拝見させていただくことはあるのですが、屋外となるとまた違ったライブ感もあり、最高の「玉光苑フェス」となりました。

屋台では、祭りの定番、焼き鳥、焼きそばに加え、協力団体「ウインド:森のクレヨン様・NPO法人ゆけむり様」からのパンやカキ氷などの販売もあり祭りの味に舌鼓を打ちながら、ナイアガラ花火でクライマックスを演出しました。

豪華賞品の抽選会においては多数の関係企業、事業所様から協賛をしていただき、誠にありがとうございました。

今回、初めての屋外イベントでいろいろと行き届きな部分も多くありましたが、関係者や地域の方々に多大なるご協力をいただき何とか盛大に開催でき、次回につながるイベントとなりましたことは皆様方のお陰と心より感謝いたします。

「利用者本位」「地域貢献」という理念のもと、当施設は更に飛躍することをお約束いたします。

今後とも当施設の運営にご理解、ご協力の程、宜しくお願い致します。



### 従来型 特養イベント



#### 屋上ビアガーデン開催

(百寿・藤タウン合同) 7月26日(火)

猛暑が続く中、屋上テラスにてビアガーデンを開催しました。当日、縁日気分を味わっていただけるように、ヨーヨー釣りや輪投げ等のゲームで楽しんでいただきました。ゲームのポイントを貯めて豪華景品がゲットできるという特典もあってみなさん、笑顔の奥は真剣な眼差しでした。(笑)

ゲームの後はお待ちかねのビアガーデンの開店です。焼き鳥や焼きそばなどお祭りの定番メニューを召し上がりながら生ビールをい

ただく幸せのひと時を過ごして頂きました。

屋上テラスは夕涼みには丁度良く、ご利用者の皆様も

ゆっくりと充実した時間を過ごせたのではないかと思いま

す。ビアガーデンの後は、地域ルームにて「スイカ割り

大会」や「スタッフ対抗スイカ早食い大会」等で盛り上

がり、最高の夜となりました。



#### 火群祭り

7月30日(土)31日(日)



### デイサービスセンター

#### 夏の収穫祭

センターでは、今年初めて、スイカ・枝豆・トウモロコシ・ミニトマトの苗を植え、この夏見事に収穫することが出来ました。農業経験はありませんが、家庭菜園が得意なスタッフをリーダーにご利用者様と一緒に丁寧に育てた結果、甘くておいしいスイカを収穫し美味しくいただきました。何事にも形から入るスタッフが多く(笑)、畠の看板や手作り案山子にも挑戦しました。ご利用者様にも協力していただき、味のある看板と2体の案山子が今でも玉光苑ファームを見守ってくれています。お近くにお越しの際には、是非ご覧下さい。



#### サマーフェスティバル

この夏、デイサービスも盛大に夏祭りを開催いたしました。ホール内に出店(焼き鳥、たこ焼き、かき氷、綿菓子など)を作り、ご利用者の皆様に食券をお渡したところ、嬉しそうにスタッフに手渡してお祭り気分を味わっていらっしゃいました。中でも豪華景品獲得に向けてチャレンジした「ストラックアウト」「フィッシングGo」では、楽しさの中にも必死が垣間見え、五輪4連覇を達成した伊調選手の逆転金メダル獲得瞬間の表情のようでした。



# 今昔物語

玉光苑劇場 第2話

今回の今昔物語は、当施設に入所されているOさんの物語です。

温泉で有名な竹田市長湯にて5男2女の7人兄弟の長男として生まれました。学生時代は学業と実家の農業の手伝いに励み、中学校を卒業してからは専業農家として頑張ってされました。農業では主にお米作りを営んでいたのですが、その他に畜産もされており、牛の品質を落とさないようにと牛を歩かせるのに年の離れた弟さんにも手伝ってもらしながら、手塙にかけて育てていたそうです。その情熱が実を結び、品評会で1等を取り表彰されることもしばしばで、弟さんも当時を振り返り笑顔でその様子をOさんの娘さんに話してくれるそうです。

30歳代の頃、自治会の取り組みにて雨で緩んだ道を整備していた際、土砂崩れに巻き込まれ、脊髄を損傷され車いすでの生活となりました。普通なら自暴自棄になり、現実逃避したくなる状況ですが、Oさんは「人に迷惑をかけたくない」という強い意志で逆境に立ち向かい自宅での生活を続けていく覚悟を決められたそうです。車いす生活の中、手先が器用であったことから竹細工として箸を作り九重の民芸品として販売され、プロ級の腕前で鍵棒を巧みに使った編み物やそのほかにもバッグなどを手作り作品として販売されていたとのことです。

はたから見れば、大きな障害を持ちながらも順調そうに見えた生活のようですが、実際には下半身の感覚がないために床ずれ(褥瘡)ができやすく、病院と自宅において継続的な治療をされていました。そんな辛い部分は決して他者には見せない強さを持っているOさんを支えてくれた奥様が他界されてから10年以上も自宅での生活を続けてこられました。年齢とともに少しづつ体力も衰えてきたとのことで当施設をご利用となられましたが、今でも2人の娘さんの精神的支柱という大きな存在であることは変わりはありません。

日々、リハビリに意欲的に取り組まる自立心の強いOさんですが、これからも元気にお過ごしいただければと思っております。貴重なお話、ありがとうございました。

次回もお楽しみに! だワン

### ユニット型 特養イベント

#### 父の日&男子会

6月19日(日)

各町の男性入居者様とそのご家族にご参加いただきました。コンセプトは「仕事帰りのお父さん」で、入居者様にはワシャツにネクタイを着ていただき、おもてなしをする女性スタッフはブラウスとスカートで衣装をそろえ、いつもと違う雰囲気で居酒屋「玉光苑」においていただきました。プロの三味線演奏を聴きながら、ビールにおでんをつまみ、和やかな雰囲気の中、心温まるひと時を過ごしました。事前に男性入居者様のご家族からそれぞれのエピソードや想いをお聞きし、イベント終盤で紹介させていただきましたが、ご家族だけでなく私たちスタッフも全員感激し涙しました。入居者様とご家族の絆に触れる機会をいただき、改めて私たちスタッフも家族の絆をより大切にしようと感じたイベントとなりました。

#### 七夕祭り

7月7日(木)



#### 奥様のお墓参り

8月1日(月)

かねてからのご希望であった奥様のお墓参りへ息子様と一緒に行かれました。道中、昔よく通った道のようで「ここらへんは覚えどる。懐かしいなあ。」と窓からずっと外を眺めていらっしゃいました。靈園で息子様と合流し、お線香とロウソクの準備が整うと「来たよ!遅くなつてごめんな。今日で98歳になったよ。こんな長生きするとは思わなかつた。キヨも向こうで元気にしろよ。」と目の前に奥様がいらっしゃるかのようにお話しをされていました。そのご様子を見て、同行させていただいたスタッフはお二人の強い絆を改めて知り、胸が熱くなりました。

ご家族とご本人の喜ばれている姿から、これからも入居者様のご希望に添えるようなケアを目指したいと思います。

